

PCB 処理だより

TOPICS
1一般
社団法人

廃棄物資源循環学会シンポジウムin北九州2017を開催!

平成29年7月25日に、一般社団法人廃棄物資源循環学会主催(本市共催)のもと、「PCB処理完遂への展望」をテーマとしたシンポジウムを北九州国際会議場において開催しました。

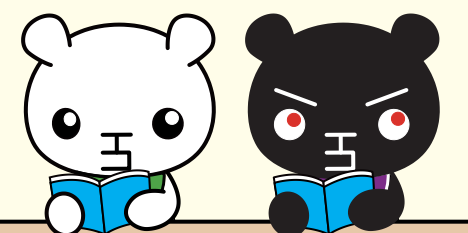
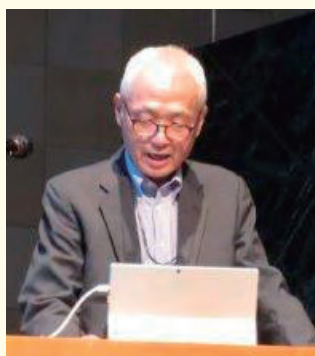
- 専門家による基調講演・報告と関係者によるパネルディスカッションを通じ、PCB処理完遂への展望を北九州の地から全国に発信しました。
- 当日は、466名もの多くの来場があり、来場者から登壇者に対して、PCB廃棄物の期限内処理完了に向けた取組状況や展望について質問が出るなど活発な意見交換も行われました。

プログラム

基調講演 「PCB処理技術—安全処理の歩みと展望」

基調報告 「JESCOにおける安全衛生管理」

パネルディスカッション 「PCB処理完遂への展望」

京都大学環境科学センター教授
酒井 伸一 氏による基調講演産業医科大学名誉教授
伊規須 英輝 氏による基調報告TOPICS
2

高専生を対象にJESCO見学ツアーを開催!

環境学習の一環として、高専生を対象にJESCO見学ツアーを開催し、北九州工業高等専門学校生徒185名が参加しました。

- 生徒たちは、施設内の安全設計の仕組やPCB処理技術等の情報を映像で学習した後、実際の処理工程について施設内のモニターなどで見学しました。
- 生徒たちからは、「処理施設の中で行われている化学反応は難しいものであったが、興味深いものであった。」「処理の状況を常時確認する監視システムや、安全に処理を行うためのグローブボックスが設置されていることに感心した。」などの感想がありました。



中央制御室の見学

北九州PCB廃棄物処理施設の操業状況

現時点において北九州事業エリア分は約95%、他の受入地域を含む全エリア分は約80%処理完了しています。

- 現在、計画どおり処理が進捗しています。
- また、過去の処理実績と処理対象台数を踏まえた「長期処理計画」の見直しを行い、期限内の処理を確実に実施していくこととしています。

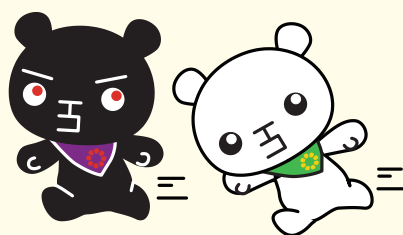


表1 平成16年度から平成29年6月末までの処理状況(試運転物を除く)

		北九州 事業エリア	東京 事業エリア	豊田事業エリア (変圧器=車載)	大阪 事業エリア
変圧器類	処理台数①	2,654台	—	62台	—
	登録台数	2,718台	—	111台	—
	処理対象台数②	2,740台	—	111台	—
	処理率①/②	96.9%	—	55.9%	—
コンデンサー類	処理台数①	48,095台	4,372台	—	—
	登録台数	50,157台	7,000台	—	—
	処理対象台数②	50,581台	7,000台	—	—
	処理率①/②	95.1%	62.5%	—	—
安定器及び汚染物等	処理重量①	2,882t	—	478t	408t
	登録重量	3,017t	—	1,931t	2,029t
	処理対象重量②	3,093t	—	約4,000t(但し缶重量を除く)	—
	処理率①/②	93.2%	—	—	22.2%

(注1) 北九州事業エリアにおける処理対象台数②及び処理対象重量②については、平成29年3月末現在のJESCO登録状況、経済産業省による電気事業法届出状況及び平成27年3月末現在の環境省によるPCB特措法届出状況を用いて推計した数値。

環境モニタリングの結果

JESCO及び本市は、PCB廃棄物処理事業による環境への影響を把握するため、周辺環境及び排出源において定期的に環境モニタリングを実施しています。

- 平成28年度「冬季」、平成29年度「春季」に実施した環境モニタリングの結果は、PCB、ダイオキシン類、ベンゼン等の全ての項目において環境基準等に適合していました。



水質(周辺海域)モニタリング

「第38回北九州市PCB処理監視会議」

(平成29年7月11日開催)

JESCO・国・市からPCB廃棄物処理の安全かつ早期の処理に向けた取組みについて報告を行いました。



PCB廃棄物処理の安全対策に関する取組

■ 北九州PCB処理事業所におけるトラブルの未然防止対策を推進

- JESCOにおいて、リスクの高い作業等に関する対策の検討や、安全意識の向上に関する取組みを進めるとともに、トラブル事例・再発防止策の水平展開を実施しています。

<主な対策> 「非正常作業等における作業手順運用の見直し」「設備変更等による対応」「作業中の工事管理の強化」「環境安全に関する教育研修を毎月実施」「過去のトラブル事象の掲示」



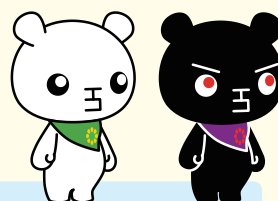
過去のトラブル事象の掲示

■ 長期保全計画に基づく設備の更新・補修

- 施設の安全な操業を確保するため、長期保全計画に基づき、JESCOにおいて施設の更新・補修を実施しており、今年度は、漏洩に関わる設備等を中心に作業を実施しています。

■ 昨年度抜本的に強化した監視指導体制を継続

- 国・市・監視会議委員による監視指導体制において、昨年度抜本的に強化した体制を継続し、北九州PCB処理事業所の適切な操業管理を徹底しています。



<市の監視指導体制>

「毎月ペースでの事業所への立入検査」「安全操業に関する報告徴収を通じたチェック」「JESCOと運転会社の会議に毎月参加して全てのリスク情報を現場から直接収集・把握」等



監視会議委員による立入の様子

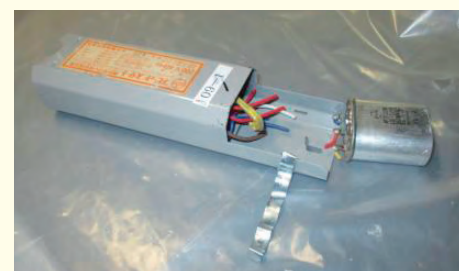
PCB廃棄物の早期の処理完了に向けた取組

■ JESCO未登録保管者や出し渋り保管者等への対応を強化

- JESCO未登録の保管者や、処理手続に消極的な保管者、処理費用の工面等を理由に出し渋りしている保管者に対し、環境省地方環境事務所、自治体と同行訪問して、説得等の対応を実施しています。

■ JESCO処理対象物の適正化を推進

- PCB廃棄物保管事業者に対して、JESCOで処理する対象物でないPCB不使用の安定器等を混在して搬入しないよう、保管場所における処理対象物の仕分けの徹底をお願いしています。



コンデンサ外付け型安定器からコンデンサを取り外した状況(コンデンサのみJESCOに搬入)

■ PCB廃棄物の早期処理に関する周知・広報を展開

- PCB廃棄物の適正な処理促進に向けた取組等を事業者へ周知するための説明会を開催し、今年度は全国30か所で開催します(北九州事業エリアにおいては17県全ての県で開催)。また、政府広報テレビ番組や業界紙広告等を活用した広報を展開しています。

■ 環境省地方環境事務所にPCB専任担当職員を新たに配置

- 本年4月から、環境省地方環境事務所にPCB専任担当職員を新たに配置するなど体制を強化し、事業者に対する指導強化や、自治体を実施する掘り起こし調査において、アンケート未達事業者に対する追跡調査支援、JESCO未登録事業者に対する確認作業及び登録作業支援、PCB廃棄物の判別方法の技術的助言等の業務を開始しています。

地方環境事務所	職 位	配置人数
中部地方環境事務所(名古屋市)	補佐(PCB担当)	1
近畿地方環境事務所(大阪市)	補佐(PCB担当)	1
中国四国地方環境事務所(岡山市、高松市)	補佐(PCB担当)及びPCB処理対策専門官	3
九州地方環境事務所(熊本市、福岡市)	補佐(PCB担当)及びPCB処理対策専門官	4

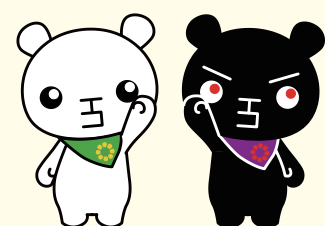
■ 近畿・東海地域の31自治体に対して早期処理を要請

- 処理施設立地自治体として、高濃度PCB廃棄物の安全かつ一日も早い処理完了に向けた取組みを徹底してもらうことを目的に、昨年度は北九州事業エリアの岡山以西36自治体を職員が個別訪問しました。今年度は安定器及び汚染物等を受け入れている近畿・東海地域31自治体を5月から7月にかけて個別訪問し、早期処理を要請しました。

■ 第4回西日本広域協議会を開催

- 関係自治体における早期処理に向けた取組内容や進捗状況を共有し、高濃度PCB廃棄物の安全かつ一日も早い処理完了に向け、更なる取組みの強化を要請しました。

今後も、北九州市は関係者と連携し、安全かつ早期の処理の推進に努めてまいります！



発行元

PCB News vol.38

環境局環境監視部環境監視課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 TEL: 093-582-2175 FAX: 093-582-2196
メールアドレス: kan-kanshi@city.kitakyushu.lg.jp

※ PCB処理の進捗など、地域の集会等に市の職員が出向いて、説明を行います。
ご希望の方やPCB処理だよりについて感想やご意見がございましたら、上記までご連絡ください。
※ この事業について、詳しくは専用ホームページ(<http://www.waste-info.jp/pcb/>)で!!

本紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。平成29年9月 No.1712032F

